



平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 日本農業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4997 URL <http://www.nichino.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 友井 洋介
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部総務・法務部長 (氏名) 高橋 史郎 (TEL) 03-6361-1400
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	11,468	△10.5	△404	—	△237	—	△223	—
29年9月期第1四半期	12,817	72.0	△388	—	△216	—	△581	—

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 516百万円(△78.0%) 29年9月期第1四半期 2,346百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	△3.34	—
29年9月期第1四半期	△8.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	91,312	48,873	50.9
29年9月期	88,713	48,867	52.8

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 46,471百万円 29年9月期 46,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	—	7.50	—	7.50	15.00
30年9月期	—	—	—	—	—
30年9月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,500	11.3	3,600	—	3,400	△10.4	2,400	0.6	35.91
通期	68,000	13.3	4,400	25.8	3,800	5.6	2,200	28.1	32.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年9月期1Q	70,026,782株	29年9月期	70,026,782株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年9月期1Q	3,190,066株	29年9月期	3,189,804株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年9月期1Q	66,836,769株	29年9月期1Q	66,837,700株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益が好調を維持し、設備投資の増加や雇用情勢の改善が続くなど緩やかな回復基調で推移しました。

当社グループの第1四半期実績は、中核事業である農薬事業の過半を占める北半球での販売が不需要期にあたる季節的要因から、他の四半期実績に比べ相対的に売上高、利益ともやや低い水準に止まる傾向があります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、Sipcam Nichino Brasil S.A.の決算期変更に伴い、前期の同社における最需要期であった10月から12月の3カ月間の業績計上時期が第1四半期連結会計期間から第2四半期連結会計期間に変更となったことなどにより、114億68百万円（前年同期比13億48百万円減、同10.5%減）となりました。利益面では、営業利益は△4億4百万円（前年同期比16百万円減）、経常利益は△2億37百万円（前年同期比20百万円減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は△2億23百万円（前年同期比3億58百万円増）となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントの概況は以下のとおりです。

[農薬事業]

国内農薬販売では、新規導入剤の販売が好調に推移しました。一方、農薬原体販売では販社の在庫調整の影響などから売上高が伸び悩み、国内販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

海外農薬販売では、日本農薬単体の販売が好調に推移したほか、Nichino India Pvt.Ltd.（旧社名：Hyderabad Chemical Pvt.Ltd.）の売上高が伸長しました。しかしながら、前述のとおりSipcam Nichino Brasil S.A.の決算期変更の影響から、海外販売全体の売上高は前年同期を下回りました。

これらの結果、農薬事業の売上高は104億6百万円（前年同期比13億38百万円減、同11.4%減）となりました。営業利益は△3億84百万円（前年同期比8百万円増）となりました。

[農薬以外の化学品事業]

化学品事業では、シロアリ薬剤分野で株式会社アグリマートの売上高が伸長しました。

医薬品事業では、外用抗真菌剤「ラノコナゾール」の販売が堅調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。

これらの結果、農薬以外の化学品事業の売上高は7億23百万円（前年同期比50百万円増、同7.6%増）となり、営業利益は1億53百万円（前年同期比29百万円増、同23.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ25億98百万円増加し、913億12百万円となりました。これは、現金及び預金の減少を上回るたな卸資産の増加が主な要因です。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ25億92百万円増加し、424億38百万円となりました。これは、長期借入金の減少を上回る仕入債務の増加が主な要因です。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、488億73百万円となりました。これは、四半期純損失及び配当金の支払いによる利益剰余金の減少があったものの、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期の連結業績予想につきましては、平成29年11月13日公表の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,620	9,754
受取手形及び売掛金	21,220	19,038
電子記録債権	895	311
商品及び製品	9,986	13,782
仕掛品	660	1,043
原材料及び貯蔵品	4,465	5,841
その他	3,868	4,694
貸倒引当金	△441	△517
流動資産合計	52,276	53,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,648	5,673
機械装置及び運搬具（純額）	3,521	3,718
土地	6,458	6,487
その他（純額）	908	842
有形固定資産合計	16,536	16,722
無形固定資産		
のれん	6,745	6,880
その他	1,078	1,204
無形固定資産合計	7,824	8,084
投資その他の資産		
投資有価証券	7,156	7,336
その他	4,947	5,251
貸倒引当金	△27	△31
投資その他の資産合計	12,076	12,555
固定資産合計	36,436	37,362
資産合計	88,713	91,312

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,546	11,960
電子記録債務	753	989
短期借入金	3,838	6,623
未払法人税等	642	236
賞与引当金	722	331
製品回収関連費用引当金	137	—
環境対策引当金	114	34
その他の引当金	30	38
営業外電子記録債務	100	225
その他	7,282	5,785
流動負債合計	23,168	26,224
固定負債		
社債	2,014	2,118
長期借入金	10,405	9,836
退職給付に係る負債	1,423	1,409
その他の引当金	58	40
その他	2,775	2,807
固定負債合計	16,676	16,213
負債合計	39,845	42,438
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,939	10,939
資本剰余金	11,057	11,057
利益剰余金	27,067	26,342
自己株式	△1,726	△1,727
株主資本合計	47,337	46,612
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,077	2,141
為替換算調整勘定	△2,487	△2,183
退職給付に係る調整累計額	△97	△98
その他の包括利益累計額合計	△507	△140
非支配株主持分	2,038	2,402
純資産合計	48,867	48,873
負債純資産合計	88,713	91,312

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	12,817	11,468
売上原価	8,920	7,691
売上総利益	3,896	3,777
販売費及び一般管理費	4,284	4,182
営業損失(△)	△388	△404
営業外収益		
受取利息	55	53
受取配当金	40	43
不動産賃貸料	21	20
為替差益	178	177
持分法による投資利益	97	140
その他	68	62
営業外収益合計	462	496
営業外費用		
支払利息	126	135
デリバティブ評価損	82	134
その他	81	59
営業外費用合計	290	329
経常損失(△)	△216	△237
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産処分損	1	3
製品回収関連費用	—	57
特別損失合計	1	61
税金等調整前四半期純損失(△)	△218	△289
法人税等	18	△250
四半期純損失(△)	△236	△39
非支配株主に帰属する四半期純利益	345	184
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△581	△223

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
四半期純損失(△)	△236	△39
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	489	63
繰延ヘッジ損益	△4	—
為替換算調整勘定	2,142	543
退職給付に係る調整額	△1	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	△50
その他の包括利益合計	2,582	556
四半期包括利益	2,346	516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,661	143
非支配株主に係る四半期包括利益	684	373

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,745	672	12,417	399	12,817	—	12,817
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	1	171	173	△173	—
計	11,745	673	12,419	571	12,990	△173	12,817
セグメント利益又は損失(△)	△392	124	△268	72	△196	△191	△388

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、スポーツ施設経営、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△191百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△191百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	農薬	農薬以外の 化学品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,406	723	11,129	339	11,468	—	11,468
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	0	1	189	190	△190	—
計	10,407	723	11,131	528	11,659	△190	11,468
セグメント利益又は損失(△)	△384	153	△231	32	△198	△205	△404

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、造園緑化工事、不動産の賃貸、物流サービス、農薬残留分析ほかを含んでいます。

2 セグメント利益の調整額△205百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△205百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っています。